

小学校 2 年

オリジナルの「ぷっかりくら」を演奏しよう

門真市立北巣本小学校

教科

音楽

単元名

ドレミであそぼう

本時のねらい

旋律の終わりの 2 小節を自分たちで考えて、けんぱんハーモニカの演奏を楽しみ、音の高低に対する感覚を養う。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

けんぱんハーモニカの演奏を動画で撮影し、それをふり返り、改善点を見いだす。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Google スプレッドシート ・カメラ機能（動画） ・教科書 QR コード

本時で育む主な情報活用能力

J-STEP 1, M-STEP 1
E-STEP 2

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (8 分)	・本時の学習内容を確認し、グループごとにめあてを設定する。 ・「ぷっかりくら」を鍵盤ハーモニカで演奏する。(復習) 【写真 1】	・スプレッドシートを活用することで、めあてをグループやクラス全体で共有し、学びのヒントにする。 ・QR コードを活用して、「ぷっかりくら」の見本の演奏を聴いたり、指使いを確認したりする。
展開 (30 分)	・終わりの 2 小節を自分たちで考える。 ・自分たちで考えた旋律の「ぷっかりくら」を演奏する。 ・つくった旋律を友だちどうしで演奏しあう。 【写真 2】	・スプレッドシートに入力して、考えた音階を共有する。 ・撮影した動画を観て、鍵盤ハーモニカの演奏をふり返り、改善点を見いだすように指導する。 ・学習室を活用し、自分たちグループの音が聞きやすいように配慮する。
まとめ (7 分)	・ふり返りをする。 【写真 3】	スプレッドシートを活用し、ふり返りをグループやクラス全体で共有する。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】めあてやスプレッドシートの使い方に
ついて、確認している。



【写真 2】「ぷっかりくら」を演奏し、その様子を
動画で撮影して、改善点を話し合っている。



【写真 3】スプレッドシートを活用して、今日の
学びを入力し、全体で共有している。

児童生徒の反応や変容

- ・子どもたちが自発的にスプレッドシートを活用するようになった。(共有されているスプレッドシートに音階を入力することで、容易に音階が共有できた。)
- ・動画撮影を行い、何度も観たり聞いたり、練習したりする中で、鍵盤ハーモニカが上達したと感じている子どもが多かった。
- ・「音の高低に対する感覚を養うことができた。」と実感する子どももいて、教科の学びを深めることができています。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・スプレッドシートを共有することで、学ぶペースがゆっくりな子どもや欠席した子どもも、安心して学ぶことができる。また、意見の共有が容易となり、友だちからヒントを得て学びに向かうことができる。
- ・学習室を活用することで、動画が撮影しやすくなるなど、学習の個別化を意識している。
- ・一斉指導（教員が話している）の時間をなるべく少なくすることにより、子どもたちが主体的に学ぶ時間を確保している。